

市記入用

指定管理者評価シート(第1次評価)

所 管 課	総合政策部 参画協働室 市民生活部 人権推進室 人権推進課
評価対象期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	川西市市民活動センター・川西市男女共同参画センター
	所 在 地	川西市小花1-8-1 102号及び206号
	設置目的	社会貢献をめざす市民活動や、男女共同参画社会の実現を推進する活動を支援するための公共施設
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制
指定管理者	名 称	特定非営利活動法人市民事務局かわにし及び株式会社ジョイン川西
	所 在 地	川西市小花1丁目9番1 - 301号及び川西市小花1丁目8番1 - 104号
指定管理業務の内容		<p>(1) 川西市市民活動センター及び川西市男女共同参画センターの設置目的を達成するための事業の実施に関する業務</p> <p>(2) 川西市市民活動センター及び川西市男女共同参画センターの使用の許可、使用の制限、使用許可の変更等に関する業務</p> <p>(3) 川西市市民活動センター及び川西市男女共同参画センターの立入調査に関する業務</p> <p>(4) 川西市市民活動センター及び川西市男女共同参画センターの利用に係る料金（「利用料金」）の收受等に関する業務</p> <p>(5) 川西市市民活動センター及び川西市男女共同参画センターの施設及び付属施設の維持管理に関する業務</p> <p>(6) 川西市市民活動センター及び川西市男女共同参画センターの設置目的を達成するため市長が必要と認める業務</p>
指定期間		平成25年4月1日～30年3月31日

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	評価レベル
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A
(1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A
① 事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。	A
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	A
③ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	A
<p>〔所見〕</p> <p>①市民活動センターと男女共同参画センターの併設館として、その両方の設置目的達成のため、概ね事業計画に則った事業運営ができた。</p> <p>②「アステ市民プラザ」との競合の影響からか、施設利用者(来館者総数)は、80,136人で前年度と比較して3,557人減少した。また、登録グループ数は、市民活動センターが58グループ(前年度より1グループ減)、男女共同参画センター50グループ(前年度より1グループ増)、合わせると108グループで昨年度と同数であった。利用者数は減少したものの、依然高い水準を維持していると思われ、工夫を凝らし丁寧なサポートも行っているため、一定の効果はあったといえる。</p> <p>③平成27年度は、センター情報紙等の内容の充実、配布の工夫等に努め、また、昨年度に引き続き、「出張講座」の実施や「まちなか美術実行委員会」に参画するとともに、そのイベントと連携協力することにより、相乗効果を図る取組となった。また、ボランティアを通じた広報を行うなど、効果的な営業・広報活動がなされた。</p>	
<p>〔改善項目〕</p> <p>27年度は来館者数が少し減少したため、少しでも多くの市民の方に市民活動センターと男女共同参画センターを利用していただけよう情報発信や営業・広報活動に工夫や改善を加え、利用者の増加及び認知度の向上に努めていただきたい。</p> <p>今後も、利用者のニーズをできる限り取り入れた講座内容、開催日や時間を検討し、より多くの参加者を確保できるよう講座の企画を検討する必要がある。</p>	
(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A
① 施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A
② 実施された事業への参加者数の増が図られたか。	B
<p>〔所見〕</p> <p>①貸室利用率・稼働率は、平日(9:00～20:00)及び土日祝日(9:00～17:00)のともに前年度より減少している。また、平日夜間(20:00～22:00)及び土日祝日(17:00～22:00)の貸室利用率・稼働率についても前年度より減少している。当然、施設利用者数が減少している影響がそのまま出ている結果であるが、一定有効に利活用されている。</p> <p>②○市民活動センターとしての事業 講座への参加人数 88人増(昨年221人⇒今年309人) ※周年事業講演会1回を含む。 市民活動・NPOサポート相談件数 56件増 (昨年373件⇒今年429件)</p> <p>○男女共同参画センターとしての事業 講座への参加人数 2人減(昨年572人⇒今年570人) 女性のための相談件数10件減(昨年363件⇒今年353件) 上記事業のうち、男女共同参画センターの講座への参加者は、ほぼ横ばいである。</p>	

[改善項目]

市民活動センターの講座への参加人数は増えたものの、男女共同参画センターの参加人数は横ばい状況であった。男女共同参画社会推進の啓発的な講座を多く実施したことによるものだと理解しているが、広報活動の工夫、市民のニーズに即した講座内容の改善、夜間利用が増加する方策の検討などさらなる見直しに努めていただきたい。

(3) 利用者の満足度	A
① 利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A
② 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。	A
③ 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A
④ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A

[所見]

[改善項目]

施設利用者の満足度は、非常に高く、引き続き市民目線に立った運営に努めていただきたい。

評価項目及び評価のポイント	評価レベル
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	A
(1) 経費の節減	A
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A
② 指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	A
<p>[所見]</p> <p>①施設の管理運営に関しては、職員の努力により光熱水費の使用料や全体経費の節減を図られている。 ②自動ドア設備や空調設備の保守点検・機械整備については、ジョイン川西で保守点検の実績がある業者と契約するなど、経費削減に努めている。</p>	
<p>[改善項目]</p> <p>今後も引き続き、経費削減に努めてもらい、利用者にも節減についての理解と協力を求め、さらなる取組みをお願いしたい。</p>	
(2) 収入の増加 ※利用料金制を採用している場合のみ評価	A
① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A
<p>[所見]</p> <p>①貸室利用者及び利用料金、事業収入は、前年度より減少したが、「一般利用」件数は増加した。講座の参加費などの事業収入については、全体では増加したものの、市民活動センターと男女共同参画センターの性格に違いもあって収入差があった。「フリースペース」の利活用については、工夫することにより事業収入の増加につながる結果となった。</p>	
<p>[改善項目]</p> <p>一般利用グループにさらに利用してもらえるよう、また講座により多く参加してもらえるよう情報発信や広報活動などに努めていただきたい。</p>	
(3) 収支のバランスなど ※利用料金制を採用している場合のみ評価	A
① 収支のバランスが適切であったか。	A
② 経費の効果的、効率的な執行が行われたか。	A
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。	A
<p>[所見]</p> <p>①収入の増加への取り組みや支出の削減に努めており、収支のバランスは適切である。 ②ほぼ事業計画書どおりの経費の執行ができており、積極的に経費節減にも取り組み、効果的・効率的な経費の執行ができています。 ③透明性を図る観点から、毎月税理士のチェックを受けるなど、適切な執行に努めている。</p>	
<p>[改善項目]</p> <p>次年度以降も引き続き、適切な経費の執行及び運営に努めていただきたい。</p>	

評価項目及び評価のポイント	評価レベル
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A
(1) 管理運営の実施状況	A
① 施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。	A
② 業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A
③ 施設の維持管理が適切に行われたか。	A
④ 指定管理者の提案による新たな取組みは実施されたか。	A
<p>〔所見〕</p> <p>①管理運営状況に応じ、適切に人員配置されている。 ②運営に関する研修や管理に関する防災訓練の研修など、適切に行っている。 ③施設維持管理計画書に基づき、適切に行われている。 ④新たな取組みとして、市民活動分野で三つ、男女共同参画分野で三つ実施された。市民のニーズがある一方で、時代の流れやその時必要なものを見極め、施設の指定管理者としてさらに、積極的に挑戦して取り組んでもらいたい。 また、利用者が自ら施設利用する上でのルール作りは当事者意識が芽生え、利用促進につながるものである。今後も、バランスを見ながら進めていってほしい。 管理面では、予期せぬ補修や修理がつきものではあるが、中長期計画をたて、最善の方法で取り組んでください。</p>	
<p>〔改善項目〕</p> <p>施設の経年劣化については、中長期的な計画を立て、常時、利用者にとって快適な施設となるよう努めていただきたい。</p>	
(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A
① 施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。	A
② 施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。	A
③ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	A
④ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。	A
⑤ 事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。	A
⑥ 利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。	A
⑦ 利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。	
<p>〔所見〕</p> <p>①施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動について、概ね適正に行われている。 ②市の個人情報保護規定に基づき、適切に行われている。 ③④⑤各マニュアルを整備し、管理スタッフを中心に適切に行われている。また、住居部との合同での防災訓練を実施するなど、適切な危機管理体制がとれている。 ⑥市民誰もが平等にセンターを利用できるよう配慮されている。</p>	
<p>〔改善項目〕</p> <p>個人情報の保護や安全対策、危機管理体制などについては、常日頃からの取り組みが重要であることから、人員の少ない土日祝日の体制を想定した訓練や予告なしの訓練を今後は実施していただきたい。</p>	

総合評価

[所見]

評価ランク

A

第2期指定管理にあたり、スタッフの人員増、指定管理者としての今までの経験・実績を活かされ、事業等の効果的・効率的な実施に努められた結果、来館者や貸室利用率・稼働率、収入など一定の成果に繋がった。また、NPO法人ならではの、利用者視点に立った管理運営も合わせて実施されたことが、利用者アンケートの結果としても満足していただく評価となった。施設の管理面においても、スタッフ自らが設備補修を行うなど、適切に維持管理がなされた。

[改善項目]

スタッフ体制の強化が図られたことにより、センターの機能が充実したと考えられる。今後もこれまで以上に、センターの設置目的について、丁寧に説明し啓発されることで両センターの利用率アップ、認知度アップにつながると考える。さらに、市民活動センターと男女共同参画センターの併設館のメリットを活かし、市内の公共施設との連携を進めていただきたい。